

5-1

古文(1)

学習日

確認問題

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

ある国の守に①「仕はれける」*もののふの、*生れながら*てこなを嫌ひて、春はおもしろきものなれどてこなが*飛びありくぞ②うたてあるかな。いづこ行くべきともおもはずと③常にいふ。④よき日にはこもりをり、雨の*しとどに降りくらす日には、⑤花見むとてぞいでありきける。

〔建部綾足「折々草」より〕

(注) もののふ＝武士。

生れながら＝生まれつき。

てこな＝蝶。

飛びありく＝飛び回る。

しとど＝ひどい。

□(1) — 線①「仕はれける」を現代仮名遣いに直し、すべてひらがなで書いて答えなさい。

□(2) — 線②「うたてあるかな」の現代語訳として最も適切なものを次から選び、記号を○で囲みなさい。

- ア いやなものだ
- イ うれしいものだ
- ウ めずらしいものだ
- エ ふさわしいものだ

□(3) — 線③「常にいふ」とありますが、「もののふ」が常に口にしている言葉を本文中から探し、その最初と最後の四字を書き抜いて答えなさい。

□(4) — 線④「よき日」とは、どんな日ですか。次から最も適切なものを選び、記号を○で囲みなさい。

- ア 気分の良い日。
- イ 都合の良い日。
- ウ 天気の良い日。
- エ 縁起の良い日。

□(5) — 線⑤「花見むとてぞいでありきける」について、次のそれぞれの問いに答えなさい。

□①「もののふ」が花見に出かけるのはどんな日ですか。書いて答えなさい。

□②「もののふ」が①のような日を選んで花見に出かけるのはなぜですか。書いて答えなさい。

.....

.....

.....

② 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

通り町三丁目へ、年ごろなる男きたりて、若き者にむかひ、「ち
 どもの① たづねたし」といふ。② 「なに事ぞ」と問へば、③ 「ここ
 らにたづねたき人あり」といふ。「名はなに」と問へば、「忘れまし
 た」といふ。* 家名は」と問へば、④ これも忘れしました」⑤ 「さ
 て途方もない事をいふ人ぢや。それではしれぬ」といへば、⑥ 「わ
 たくしは、はるばる遠き水戸から参つたものでござる。教えて下さ
 れねば二日路の道を帰ります。* さりととは」といふ。この男も気の
 毒に思ひて、「せめて* かたしろでも⑦ 覚え給はぬか」と問へば、
 「名も家名も、みな刺すやうな」といふ。しばらく考へて、「さては
 むかひの* 宿の、松葉屋有介が事であらん。松葉も蟻も刺すものぢ
 やほどに」といふ。⑧ 「それではござらぬ。もつときつく刺すものぢ
 や」といふ。⑨ いま思ひつけた。伊賀屋の八兵衛か」といへば、
 「それぞれ」といひてたづねあふ。

〔鹿の巻筆〕より

(注) 年ごろなる男⇨年配の男。

家名⇨商店などの家の呼び名で、屋号。本文中の「松葉

屋」「伊賀屋」などがその例。

さりととは⇨これはまた(困ったものだ)。

かたしろ⇨手がかりになるようなもの。

宿⇨家。

□(1) ———線①「たづねたし」を現代仮名遣いに直し、すべてひらが
 なで書いて答えなさい。

--

□(2) ———線②・③・⑤・⑥のうち、「年ごろなる男」の言葉にはア、
 「若き者」の言葉にはイと、それぞれ書いて答えなさい。

②	③	⑤	⑥
---	---	---	---

□(3) ———線④「これ」は何を指していますか。本文中から書き抜い
 て答えなさい。

--

□(4) ———線⑦「覚え給はぬか」の現代語訳として最も適切なものを
 次から選び、記号を○で囲みなさい。

- ア 覚えておきましょうか。
- イ 覚えていらっしゃいませんか。
- ウ 覚えてくれませんか。
- エ 覚えてもらえましたか。

□(5) ———線⑧「いま思ひつけた。伊賀屋の八兵衛か」とありますが、
 ここでこの人が「伊賀屋の八兵衛」の名を思いついたのはなぜで
 すか。次から最も適切な理由を選び、記号を○で囲みなさい。

- ア 八兵衛が水戸の出身だったから。
- イ 八兵衛は前に松葉屋に住んでいたから。
- ウ 八兵衛は有介の知り合いだったから。
- エ 「いが」も「はち」も刺すものだから。

5-2

古文(2)

練成問題

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

今は昔、*もろこしに、*孔子、道を行給に、八ばかりなる童あひぬ。孔子に問申やう、日のいる所と、洛陽と、①いづれか近きと。孔子*いらへ給やう、日の入所は遠し。洛陽は近し。童の申やう、「日の出入所は見ゆ。洛陽はまだ見ず。されば、日の出る所は①、洛陽は②と思ふ」と申ければ、②孔子、「かしこき童なり」と、感じ給ひける。「孔子には、かく物問ひかくる人もなきに、かく問ひけるは、③ただものにはあらぬなりけり」とぞ、人いひける。

〔宇治拾遺物語〕より

(注) もろこし＝中国。

孔子＝中国の思想家。賢者として有名。

洛陽＝中国に昔あった都。

いら(ふ)＝答える。

□(1) — 線①「いづれか」を現代仮名遣いに直し、すべてひらがなで書いて答えなさい。

--

□(2) 本文中の地の文から孔子の言葉を探し、その最初と最後の四字(句点は字数に数えません)を書き抜いて答えなさい。

□(3) 本文中の①・②に入ることばを本文中から探し、それぞれ二字で書きぬいて答えなさい。

①	-----
②	-----

□(4) — 線②「孔子、「かしこき童なり」と、感じ給ひける」とありますが、孔子がこのように感じたのはなぜですか。次から最も適切な理由を選び、記号を○で囲みなさい。

- ア 童が理屈にかなったことを言ったから。
- イ 童が自分の間違いを訂正してくれたから。
- ウ 童が洛陽の場所を正確に知っていたから。
- エ 童が日の出入りをきちんと観察していたから。

□(5) — 線③「ただものにはあらぬなりけり」とありますが、これはだれのことを評した言葉ですか。本文中から書き抜いて答えなさい。

--

□(6) 本文中に出てくる「孔子」と弟子たちの言行を弟子がまとめたものを次から一つ選び、記号を○で囲みなさい。

- ア 「論語」
- イ 「方丈記」
- ウ 「平家物語」
- エ 「奥の細道」

② 次の文章を読んで、あゆの問いに答えなさい。

ある人、*^{あゆ} 狗をいと、① *^{あゆ} いたはりけるにや、その主人、外^{ほか}より
 帰りし時、かの狗、その膝^{ひざ}に上り、胸に手を上げ、口の辺を *^{あゆ} ねぶ
 り廻^{まは}る。これによつて、② *^{あゆ} 主人愛する事、いやましなり。

③ 馬、*^{あゆ} ほのかにこの由^{よし}を見て、羨^{あやま}しくや思ひけん、「*^{あゆ} 天晴、
 我もかやうにこそし侍^{はべ}らめ」と思ひ定めて、ある時、主人、外^{ほか}より
 帰りける時、馬、主人の胸にとびかゝり、顔をねぶり、尾を振りな
 どしければ、主人、これを見て、④ *^{あゆ} 甚だ怒りをなして、棒を *^{あゆ} おつ
 取りて、本の馬屋に押し入れる。
 その如^{ごと}く、人の *^{あゆ} 親疎^{しんそ}をわかまへず、我が方^{あた}より *^{あゆ} 馳走^{ちそう}顔こそ、
 甚だもつて、おかしき事なれ。

〔伊曾保物語〕より

(注) 狗 子犬。

いたはりけるにや かわいがっていたのであろうか。

ねぶり廻る なめ回す。

ほのかに ちらつと。

天晴 ああ。

おつ取りて 急いで取って。

親疎 親しいことと親しくないこと。

馳走 親しげにふるまうこと。

□(1) 線①「いたはりける」を現代仮名遣いに直し、すべてひらがなで書いて答えなさい。

□(2) 線②「主人愛する事、いやましなり」の現代語訳として、

最も適切なものを次から選び、記号を○で囲みなさい。

- ア 狗は主人を愛することがますますいやになった。
- イ 主人は狗を愛することがますますいやになった。
- ウ 主人は狗をますます愛するようになった。
- エ 狗は主人をますます愛するようになった。

□(3) 線③「馬、ほのかにこの由を見て、羨しくや思ひけん」とありますが、馬はだれのことをうらやましく思ったのですか。本文中から書き抜いて答えなさい。

□(4) 線④「甚だ怒りをなして」とありますが、主人が怒ったのはなぜですか。「くから」という形で書いて答えなさい。

□(5) 本文で筆者が述べようとしていることとして、最も適切なものを次から選び、記号を○で囲みなさい。

- ア 動物をむやみにかわいがると、ひどい目にあうことがある。
- イ だれかときあうときは、自分と相手の間柄をきちんとふまえてはならない。
- ウ 他人をむやみにねたんでじゃまをしようとしても、よい結果は生まれない。
- エ 運の悪い者は、何をやってもうまくいかないものだ。